

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

9/10

アカデミック英語 No.2

英語記述・要約を"パラグラフ構造"で書く —— 論点を一段上の位置で整理する

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。英語記述・要約問題で「書いてある内容を拾っただけ」の答案と、パラグラフ構造から組み立てた答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきました。その実感が、この講座の核心です。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 英語要約問題

東京大学・京都大学の英語では、長文の論旨を英語または日本語で要約する問題が出題される。「書いてある内容を拾う」だけの要約と、トピック文・支持文・結論文という構造から組み立てた要約では、採点者（大学教員）の評価に明確な差が出る。

② 英語意見論述問題（agree/disagree型）

慶應義塾大学医学部・東京科学大学・早稲田大学理工学部の英語では、賛否を述べる意見論述問題が出題される。パラグラフ構造を持つ答案と、意見を羅列しただけの答案では評価が大きく異なる。

③ 医学部推薦・総合型選抜の英語論述

医学部推薦入試では、英語で意見を論述させる問題が出題される。大学アカデミックライティングのパラグラフ論を知る受験生は、採点者（大学教員）が求める「構造のある答案」を書けるようになる。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学 英語	論旨の要約・内容説明問題	パラグラフ構造が要約の質と論旨の正確性を高める
京都大学 英語	段落の役割を見抜く内容説明・要約問題	トピック文の把握が要約精度を直接上げる
慶應義塾大学 医学部・理工学部	英語意見論述・agree/disagree型問題	パラグラフ構造が論述の説得力を高める
医学部推薦・総合型選抜（全般）	英語で医療・科学について論述させる問題	構造ある答案が採点者（大学教員）に際立つ

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

英語記述を「情報を日本語で理解して英語に直す」だけのアプローチをとる受験生は、構造のない答案になりやすい。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）英語要約でトピック文を一文で書ける、（2）意見論述問題で論理的な構造から書き始められる、（3）採点者（大学教員）が「構成がある」と判断する答案を書ける、という変化が起きる。

何十年も英語の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、英語記述問題で「内容の羅列答案」と「パラグラフ構造から組み立てた答案」の評価の差を採点者として熟知している。その実感が、この講座の根拠である。